

# EHEIM

## エーハイム オートフィーダー

### 観賞魚用自動給餌器



3581060

## 3581060

### 取扱説明書 (保証書付)

このたびは、エーハイムオートフィーダーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。エーハイムオートフィーダーを正しくお使いいただくために、本書をよくお読みいただきますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は保証書も兼ねております。保証書に必要な事項が記入されているかご確認の上、大切に保管くださるようお願い申し上げます。

#### 対応できる餌の種類

フレークフード	(エーハイム リッチフレーク) (エーハイム リッチマリン)
クランブルフード	(エーハイム リッチクランブル)
ペレット状フード	(エーハイム リッチスティック) (エーハイム リッチペレット)
顆粒状フード	

使用乾電池 単3形アルカリ乾電池1.5V×2本

#### I. 使用上の注意



故障を避けるためにお守り下さい。

- 濡れた手で扱わないでください。本体に水を掛けたり、水中に落としたりしないで下さい。
- エア吸入口に直接湿気が吸入されないように設置してください。
- ドライブユニットは分解しないで下さい。
- 使用済みの電池や液晶パネルなどは火中に投入しないで下さい。
- 本器に不適切な餌は使用しないで下さい。  
(例. 餌が餌排出口に詰まってしまう餌や冷凍餌など)
- プログラムする際は、常に表示を確かめながら確実にキーを押して下さい。
- お手入れは、乾いた柔らかい布か、中性洗剤液に浸し固くしぼった布でふき、シンナー、ベンジンなどの揮発性の液体は使用しないで下さい。
- 修理依頼される前には、電池の状態及び操作方法に間違いのないかをよくお調べください。
- 再充電可能な電池は使用しないで下さい。

エーハイム製品のお取り扱い方法・お手入れ方法・修理その他ご不明な点は、機種名をご確認の上、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。

#### 輸入発売元:エーハイム ジャパン株式会社

住所: 〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6 ワールドビジネスガーデン マリブイースト

【修理・保証サービスなど製品に関するお問い合わせ】

エーハイムサービスセンター (平日 9:00~17:00 土・日・祝日は休み)

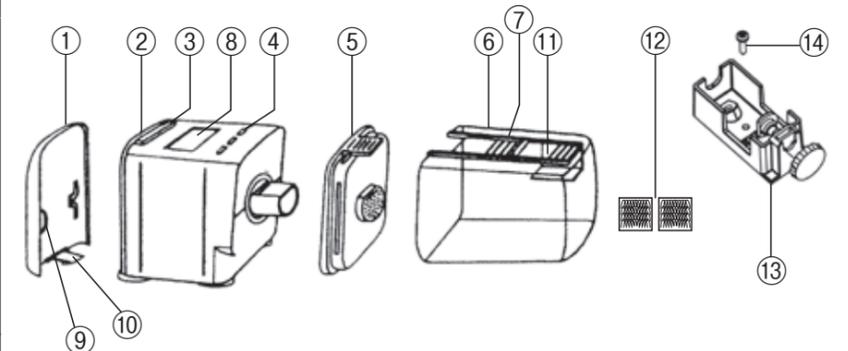
TEL:043-297-3901 FAX:043-297-3531 Eメールアドレス service.center@eheim.co.jp

エーハイム ジャパンホームページ <http://www.eheim.jp>

比較テスト、機種別分解図、各種取扱説明書、アクセサリ別の使用方法や分解図などご覧になれます

#### II. 各部の名称(A図参照)

(A)



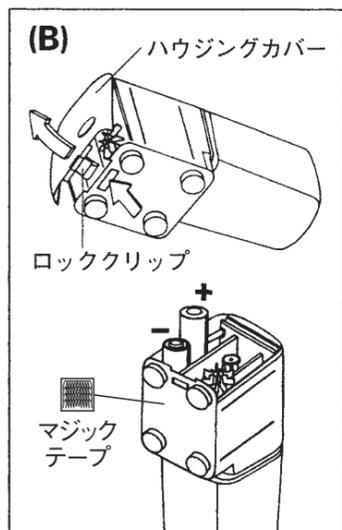
- |                  |                                 |
|------------------|---------------------------------|
| ① ハウジングカバー       | ② ドライブユニット (電池収納部付)             |
| ③ (手動給餌用)ワンタッチキー | ④ プログラミングキー<br>( mode、 +、 set ) |
| ⑤ コンテナカバー        | ⑦ 給餌量調節スライダー                    |
| ⑥ 給餌コンテナ         | ⑧ 表示窓 (液晶パネル)                   |
| ⑧ 表示窓 (液晶パネル)    | ⑨ エア吸入口                         |
| ⑨ エア吸入口          | ⑩ ロッククリップ                       |
| ⑩ ロッククリップ        | ⑪ 餌排出口                          |
| ⑪ 餌排出口           | ⑫ マジックテープ                       |
| ⑫ マジックテープ        | ⑬ 固定ホルダー                        |
| ⑬ 固定ホルダー         | ⑭ 固定ホルダー用ネジ                     |

### III. 使用電池について

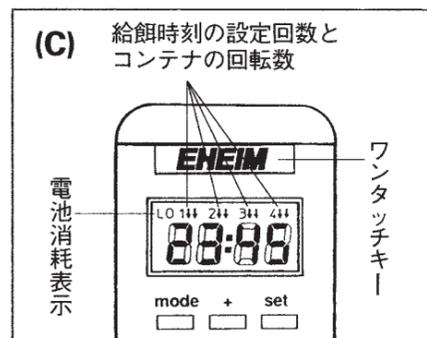
本器は単3アルカリ乾電池(1.5V) 2個を電源とします。電池が消耗しますと、表示窓に「LO」と表示されます。このときは、新しい電池と交換してください。なお電池は、必ず2個とも新しい電池と交換してください。「LO」表示は3日経過しますと、表示全体が点滅を始め、装置が止まります。但し、給餌コンテナの排出口は、餌がこぼれないように上を向いて止まります。

### IV. 電池交換の仕方(B図参照)

- ロッククリップを軽く押して、ハウジングカバーを外します。
- 電池を⊕⊖に注意して図のように入れます。
- ドライブユニットの上端の溝と下端の縁に、ハウジングカバーを合わせ、電池を押さえながら閉じます。(合わせる際、ワンタッチキーに手を触れないで下さい。)



### V. 表示とキーの説明(C図参照)



表示窓の時刻の上段の数字は、1日における給餌時刻の設定回数を示します。また、その数字の隣の矢印は、給餌コンテナの回転数を示します。なお、給餌時刻の設定回数は、1日最高4回までが限度です。一方、矢印については、次の通りです。

矢印↓	矢印は給餌コンテナの回転数です
無	回転しません
1本↓	給餌時刻に1回転します。
2本↓↓	給餌時刻に1回転、それから1分後に再び1回転します。

※次の給餌までの時間間隔を長くとする場合は、2本矢印にセットします。

#### EHEIM ワンタッチキー

設定した給餌時刻以外で給餌を行いたいとき、押します。給餌コンテナが1回転し、給餌します。

#### mode モードキー

現在の時刻やそれぞれの給餌時刻の表示に切り替えられます。コロン“:”が点滅している場合は、現在の時刻を表示しています。また、給餌コンテナの回転数(矢印)の設定変更も出来ます。

#### set セットキー

モードキーと組み合わせて使います。現在の時刻やそれぞれの給餌時刻の設定・変更を行います。また、最後にこのキーを押せば、確定の状態になります。

#### + プラスキー

点滅する数字の加減や矢印の本数の変更ができます。押し続けることにより数字を早送りする事ができます。

### VI. 設定方法

#### ■現在時刻の合わせ方

例	操 作	表 示 窓
午前7:30に セットする。	電池を本体に入れる。	00:00
	set を押す。	00:00
	+ を押す。	07:00
	mode を押す。	07:00
	+ を押す。	07:30
	set を押す。	07:30

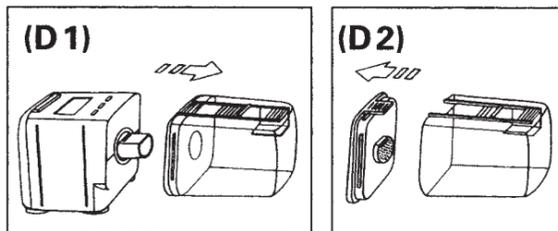
#### ■給餌時刻及び給餌コンテナの回転数の設定

例	操 作	表 示 窓
初回の給餌時刻を 午前 8:30 にセッ トし、給餌コンテ ナを2回転させる。	mode を押す。	1 00:00
	set を押す。	1 00:00
	+ を押す。	1 08:00
	mode を押す。	1 08:00
	+ を押す。	1 08:30
	mode を押す。	08:30
	+ + を押す。	08:30
	set を押す。	08:30
	mode を押す。	08:30
	mode を押す。	08:30

※2回目以降もセットする場合は、mode を押して、上記の操作と同様にします。最高4回までセットできます。  
※設定完了した場合は、mode を必要なだけ押せば、現在の時刻の表示画面に戻ります。(コロン“:”が点滅するのでわかります。)

### VII. 給餌コンテナへの餌の詰め方(D1.2参照)

まず、コンテナカバーがついたままD1図のように、給餌コンテナをドライブユニットから外し、中を清掃し乾いていることを確認後、餌を入れてください。

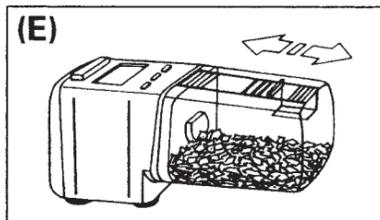


入れ終わったら、コンテナカバーを取りつけ、給餌コンテナをドライブユニットの軸に合わせて装着してください。

⚠注意 水分の多い生餌や冷凍餌料、ハンバーグ、大きな餌などは詰めないでください。

### VIII. 給餌量の調節(E図参照)

給餌量調節スライダーにより、給餌コンテナの排出口の開き具合を調節して、1回当たりの必要な分量を設定します。この際、与えすぎにならないようにまた、餌の排出口が詰まらないことを確認して下さい。



#### <亀に使用する場合>

リッチスティック(大、小)等のペレット状の餌の場合は下記を目安にセットしてください。  
開口部分3ヶ目の溝でセットの場合: 餌は少量出ます。(みどりガメ幼体飼育に適当な量)  
開口部分4ヶ目の溝でセットの場合: 餌は問題なく出ます。

#### ■子ガメにご使用の場合

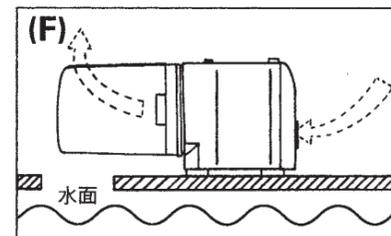
子ガメ入手時の状態により、最初はオートフィーダー使用ではなく、直接手で給餌を行い、確実に餌が食べられる様であれば、オートフィーダーを使用するようにして下さい。水温低下時や、その時の具合により餌食いの落ちる場合もありますのでご注意ください。

#### ■大型カメの場合

1回の給餌量では少ない場合もありますので、1回の給餌時に2回転の設定にしたり、給餌の間隔が連続するような設定が必要な場合もあります。適切な水温時での生体の食べる量を把握の上、ご使用ください。

### IX. 本器の置き場所(F図参照)

給餌コンテナの回転時、タイミング良く水面に餌が落ちてくることが出来る位置にセットしてください。本器の位置がずれないように付属のマジックテープをご使用下さい。なおドライブユニットの後ろのエア吸入口は、湿気を吸入しない場所にセットし、エア吸入口を塞がないようにして下さい。



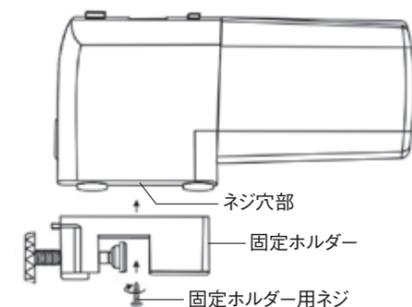
⚠注意 餌は与えすぎないように調節する。エア吸入口に湿気が入り込まない場所にセットする。

### X. 付属の固定用ホルダーのご使用方法

付属の固定用ホルダーをご使用頂く事により、水槽縁への固定が可能になります。下記の取り付け方法にて、オートフィーダー本体への取り付け、水槽縁への取り付けを行ないます。

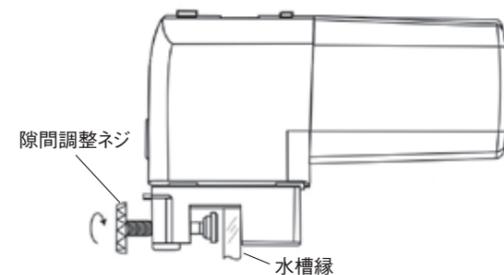
#### ①オートフィーダー本体への取り付け

オートフィーダー裏面に、固定ホルダー用ネジにて、固定ホルダーを取り付けます。この時、オートフィーダー裏面のネジ穴部に固定ホルダー用ネジが入るようにします。



#### ②水槽縁への取り付け

固定ホルダーの隙間調整ネジを回して、水槽縁へ取り付けます。



#### ③ハウジングカバーの開閉

電池交換などでハウジングカバーを開ける場合は、固定ホルダーの開閉レバーを下げて、ハウジングカバーを取り外します。

